

里地里山の全国分布とタイプ分類

**里地里山・・・集落をとりまく二次林と、それらと混在する農地、
ため池、草原等で構成される地域概念**

里地里山のタイプ	面積(万ha)	国土面積比
①二次林を中心とした里地里山	770	20.8%
ミズナラ二次林を中心	180	4.9%
コナラ二次林を中心	230	6.2%
アカマツ二次林を中心	230	6.2%
シイ・カシ萌芽林を中心	80	2.2%
シラカンバ二次林等その他	50	1.4%
②二次林が混在する農地を中心とした里地里山	700	18.9%
③二次草原を中心とした里地里山	100	2.7%
合計	1,570	42.4%

- ミズナラ林タイプ
- コナラ林タイプ
- アカマツ林タイプ
- シイ・カシ萌芽林タイプ
- その他（シラカンバ等）

**シラカンバ二次林など
を中心とした里地里山**
放置すると、やがて自然林
に代わっていく。



**ミズナラ二次林を
中心とした里地里山**
放置すると、やがてブナな
どの自然林に代わっていく。



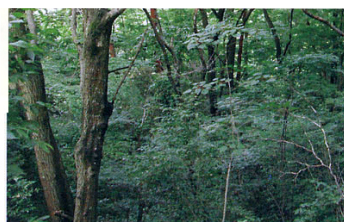
**シイ・カシ萌芽林を中心とし
た里地里山**
タケが繁茂しなければ、やがてシ
イ・カシの自然林に移行する。



**コナラ二次林を中心とした
東日本の里地里山**
人口が密集していて開発が多くタ
ケ・ササの繁茂が目立つ。



**コナラ二次林を中心とした
西日本の里地里山**
人口密度が低く、雪のやや少ない
ところではタケの繁茂が目立つ。



**アカマツ二次林を中心とした
里地里山**
人口が密集しているが、ため池など
も多く、希少種も多い。開発やマツ
枯れ、タケの繁茂の問題がある。



※二次林及び二次林が混在する農地について、
二次林のタイプにより分布を記載